

「主体的・主体性」とは・・・

【主体的】ある活動や思考などをなすとき、その**主体**となって働きかけるさま。他のものによって導かれるのではなく、**自己の純粋な立場**において行うさま。

【主体性】主体的であること。またそういう態度や性格であること。
(広辞苑第6版)

主体性とは、「**主体**」が他と関わっていく中で現れてくる性質としての**属性**（浅海ら，2001）

主体性とは、『**自分を知る**』『**自分でつくり上げていく**』『**自分らしく生きる**』という**自己成長のプロセス**（伊藤ら，2015）

英語にあたる言葉としては・・・

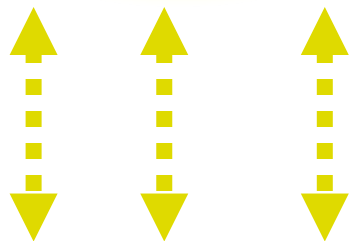
「self-determination」、「self-direction」、「independence」、
「subjectivity」、「autonomy and individuality」・・・

リカバリーと「主体的・主体性」

リカバリーの構成要素：

- ① **自己決定**が前提として欠かせない
 - ② 個別的でその人中心のありようである
 - ③ **エンパワメント**の過程である
 - ④ その人の全体的な現象である
 - ⑤ 経過は非直線的である
 - ⑥ ストレngthsに注目する
 - ⑦ 仲間の存在が欠かせない
 - ⑧ 尊厳が重要な要素である
 - ⑨ 自分の人生に対する責任をとる
 - ⑩ 希望の存在が最も重要な要素である
- (SAMHSA 2006)

主体的に
生きること



精神疾患をもつ方の
リカバリー

【エンパワメント】

人々が他者との相互作用を通して、自ら最適な状況を**主体的**に選びとり、その成果に基づくさらなる力量を獲得していくプロセス（巴山ら,2003、池田ら,2010）

「主体性」を感じるときの要素 生成したカテゴリ

【人生や生活における決定を自分で考えて行う】

【「ありたい自分」の具体化（意識化）と
実現に向けた行動】

【自分の価値観・スタイルが出せる】

【治療・生活環境によって
暮らしの中の選択をしばられない】

【自分や周囲の決めつけによって選択をしばられない】

【思いつかない】

「主体的」に生きている感覚

個人的な要素

意識レベル

【「ありたい自分」の具体化・意識化】

【「ありたい自分」の実現に向けた行動】

【人生や生活における決定を自分で考えて行う】

行動レベル

【自分の価値観・スタイルが出せる】

【自分や周囲の決めつけによって
選択をしばられない】

環境等による影響
・関係性

【治療・生活環境によって
暮らしの中の選択をしばられない】